

◆ 会員紹介 13

特定非営利活動法人 リサイクル技術振興会

15 年程前、一般ごみ焼却灰の無害化で仲間から相談が持ち込まれました。ごみは大別すると一般ごみ（生活ごみ）と産業廃棄物になり、一般ごみは自治体のごみ焼却炉（炉内温度は 600℃）で減容化されますが、その焼却灰は有害で、最終処分場に有償処理されるのが常でした。そのための費用は 1 万円/t 程度は必要でした。当時廃棄物の無害化には熔融炉（溶鉱炉が代表で炉内温度は 1300℃）が流行っていましたが費用が高いため、焼成炉（陶器窯が代表で炉内温度は 1000℃）で無害化出来ぬかと勉強することにしました。

それが、1999 年の焼却灰焼成技術振興会（勉強会）の始まりです。炉内温度が熔融炉より低いので、安価にはなりますが、出来た焼却灰の無害化・不溶化には苦労しました。集まった仲間は、廃棄物処理会社や建設会社が主で、苦労の末、何とか目的を果たし 2003 年には NPO に認められ、2005 年には埼玉県が主宰する彩の国資源循環工場で実証炉を稼働開始する事が出来ました。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0507/901-20091218-69.html>

昨年度までにサイクル出来た焼却灰の総量は 50 万トンです。

一方、現在一般廃棄物の年発生量は 5 千万トン強であり、その処理費は 2 万円/t を超えています。すなわちその処理市場は 1 兆円を超えています。しかしながら、今まで熱エネルギーによってリサイクルしてきた当 NPO の手法も変換点にあり、今後は一般ごみ焼却灰の熱以外の無害化（例えば化学的）の検討やリサイクルした物質の用途を含め再検討が必要と考えています。よって、ここ 1-2 年で当 NPO も再度勉強会から再スタートすべきと考え始めています。

特定非営利活動法人 リサイクル技術振興会

理事長 下村 嘉平衛

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-1-7 神谷ビル 4 階

TEL 03-3553-8233

E-mail info@rectech.or.jp <http://rectech.or.jp>